

2019 年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2201121	生活芸術 Art in Daily Life	片山 一葉	専門	2	選択	1年 後期
<b>科目の概要</b>						
身の回りの生活を観察し分析する中で、その背景にある文化的な様相を概説する。領域としてはアート、デザイン、映像、メディア、建築などに及ぶ。個人と社会の結びつき、文化のありかた、多様化する価値観の推移を理解する。						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
① 地域、歴史、技術など様々な観点から多様なかたちで存在する文化のあり方を理解する。			① 種々の背景、概念から文化の諸相を理解することができるようになる。			
② 私たちの日常生活に潜む生活文化を理解するうえで、多様な視点を提供する。			② 多様な視点で私たちの日常生活に存在する文化のあり方を理解することができるようになる。			
③ 1, 2を関連づけ、現代の日常生活のなかで、様々な価値観を発見する。			③ 学生自ら、自身の生活環境を観察し、現代の生活の背景となる文化を発見するようになる。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的な行動事例</b>				
前に踏み出す力	主体性	授業で得た視点から、自分にできることを考えることができる				
	働きかけ力	課題に対して、自分のアイデアをまとめ、提案することができる				
	実行力	課題の内容を把握し、それに応える成果物を作成することができる				
考え抜く力	課題発見力	レポートやディスカッションなどで与えられた課題に対し、まず何が問題なのかを整理することができる。そして、それを解決する上で、どう対処する必要があるか考えることができる				
	計画力					
	創造力	授業で得た新たな視点から、物事を考え、新たな自分の発想に繋げることが出来る				
チームで働く力	発信力	理解したこと、発想したことを自分の言葉で整理し、レポートやディスカッションで伝えることができる				
	傾聴力	授業の内容や他者の意見を聴き、理解し、分からないことがあれば質問をする				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	授業中の私語を慎むなど、周りのことを考えた授業態度をとる				
	ストレスコントロール力					
<b>テキスト及び参考文献</b>						
テキスト: 柏木博『家事の政治学』(岩波書店) その他、項目ごとに随時プリントを配布する。						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
特になし						
<b>学修上の助言</b>			<b>受講生とのルール</b>			
この授業では、デザインや美術の領域を幅広く扱います。それぞれの領域で、自分の日常で接することの出来る作品に目を向けることや、美術館に足を運ぶこと、作品について調べることが重要になります。			私語厳禁			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	70	①	✓	小レポートを1,2回(20点)と、最終レポート(50点)を出題する。実施時期、テーマについては授業中に指示する。 小レポートは、授業内でその内容を発表する、またはそのレポート内容を受けてディスカッションを行う等、前後の授業と関連づけられたものになっているため、評価も学修態度等と連動する。
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性)
		②	✓	自ら進んで、美術館や、図書館、インターネットで調べることができる。
		③	✓	授業で課すコメントシートやレポートや、授業中の積極的な参加などから、学生本人の「興味・関心」「学習意欲」「参加度」を評価する(10点)
		④		(実行力) 与えられたレポート課題に対し、テーマや題材を見つけ、期日までに必要な資料や素材を準備し、計画的にレポートを書き上げることができる。
		⑤		(課題発見力) 授業で知ったことから、社会の問題点を見出すことができる。 (創造力) 授業の内容を受けて、新たな視点を発見することができる。 (発信力) レポートやディスカッションなどで、興味を感じたことや、調べた内容、自分の意見を、要点をまとめ、論理的に述べることができる。 (傾聴力) 授業の内容を整理しながら理解し、分からないことがあればその場で質問することができる。 (規律性) 受講態度(遅刻、欠席、学習意欲の欠如)が見られる場合は10点減点する。
その他	20	①	✓	6回以上の欠席は、O(放棄)判定となる。
		②	✓	授業毎に配布するコメントシートの提出。授業の内容を整理しながら理解し、また新たな疑問を持つこと。(20点)
		③	✓	
		④		
		⑤		
総合評価割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル S(秀) 及び A(優) の基準	到達レベル B(良) の基準
<p>(S) 課題を全て提出した上で、授業で紹介した文化の多様なコンテキストを理解し、それらに関連させながら、自ら主体的に身の回りの生活を見る・観察できること。 それに加え、自らアイデアを考える課題において、オリジナリティのある提案ができること。</p> <p>(A) 課題を全て提出した上で、授業で紹介した文化の多様なコンテキストを理解し、それらに関連させながら、自ら主体的に身の回りの生活を見る・観察できること。</p>	<p>授業で紹介した様々な文化のコンテキストを理解すること。(授業への参加、レポートの提出状況については、個別に相談を受けつける。)</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	ガイダンス 授業内容の前提となる芸術・デザインに関する情報の共有	講義 アンケート	自身のデザインや芸術に関する考えやイメージを客観視する	授業で得た視点で自身の生活を観察するため、要点を理解すること。	60	課題発見力 傾聴力
2週 /	そもそも「芸術」とは？ 芸術と社会の関係	講義	社会の成り立ちと芸術の歴史を関連付けて理解する	芸術と社会の関係や芸術に関する技術・メディアの変遷について、要点を理解すること。	90	課題発見力 傾聴力 柔軟性
3週 /	「芸術家」や「デザイナー」の仕事とは？ 芸術と経済・職業・家庭生活	講義	「デザイナー」や「芸術家」のあり方、さらに産業革命以降の「職業」の意味について理解する	講義ノートを復習予習として柏木博『家事の政治学』を一読すること。	90	課題発見力 傾聴力 柔軟性
4週 /	良いデザインとは何か？ 日常で使う製品のデザインを評価する1	講義, ディスカッション	デザインされた製品のよしあしとは何なのかを、実際に製品を使い、自分なりの意見をまとめる	前週に指定した食器を持ち寄ること。 予習として柏木博『家事の政治学』を一読すること。	90	主体性 課題発見力 傾聴力 発信力
5週 /	良いデザインとは何か？ 日常で使う製品のデザインを評価する2	講義, ディスカッション	デザインされた製品のよしあしとは何なのかを、実際に製品を観察し、自分なりの意見をまとめる	前週に指定した食品パッケージを持ち寄ること。 予習として柏木博『家事の政治学』を一読すること。	90	主体性 課題発見力 傾聴力 発信力
6週 /	良いデザインとは何か？ 製品のデザインとその用途そのものを掘り下げる	講義, ディスカッション	自宅キッチンのデザインを実例に、製品の用途そのものを含めたデザインの在り方を理解する	自宅キッチンのデザインをリサーチしておくこと。	120	主体性 課題発見力 傾聴力 発信力
7週 /	行動や手順をデザインする	小レポート、 プレゼンテーション	人間の行動そのものをデザインする「手順書」を制作し、発表する	前週のデザインの分析について復習 小レポートの作成とともに、発表の準備を行う	240	主体性 実行力 働きかけ力 創造力
8週 /	美術作品が見られる場所 1 屋内空間の美術作品	講義	美術館の意義や様々な美術館の在り方を理解する	9週目のフィールドワークで実際に美術館を訪れるため、美術館の役割について要点を復習しておくこと。	90	課題発見力 傾聴力 柔軟性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	美術館へのフィールドワーク これまでの授業を踏まえ、美術館の役割や都市景観の観点などフィールドワークを行う	フィールドワーク	展覧会や美術館のコレクションを鑑賞することで、美術館の役割を理解する	予習として、自分の身近にあるパブリックアート作品を見つけ、記録しておくこと。	90	課題発見力 規律性 柔軟性
10週 /	美術作品が見られる場所 2 パブリックアート	講義、 ディスカッション	自分の身近にあるパブリックアート作品を見つけ、自分なりの分析が出来る	講義ノートやディスカッションでの他者の意見など整理し、パブリックアートの意義について復習すること。	120	課題発見力 柔軟性 発信力
11週 /	街と芸術(アートイベント・芸術祭の発展)	講義	パブリックアートの在り方と、それに関連して生まれたアートイベント・芸術祭の意義について理解する	美術館以外での美術作品に触れる機会について復習し、意義を改めて考えること。	90	課題発見力 傾聴力 柔軟性
12週 /	芸術と科学技術 (絵画・写真・映像を例に)	講義	写真の登場以降の絵画表現の在り方と、写真・映像表現の発展を関連付けて理解する	復習として、授業で紹介した映像作品のうち、興味を持ったものを改めて視聴すること	90	課題発見力 傾聴力 柔軟性
13週 /	遊び・娯楽とデザイン・芸術	講義	日常的な遊びや娯楽と芸術作品やデザインプロダクトの関係性を俯瞰し、自分なりの意見を持つ	復習として、授業で紹介した映像やデザインプロダクトのうち、興味を持ったものを改めて視聴・したり調べたりすること	90	課題発見力 傾聴力 柔軟性
14週 /	作品の表現内容、感じ方は何 でもありなのか？ 芸術作品と社会の摩擦	講義	芸術表現の持つメッセージとポリティカルコレクティブの関係性について理解する	予習として、これまでの講義の内容を踏まえ、自作の芸術作品の企画を考える。	90	課題発見力 傾聴力 柔軟性
15週 /	芸術作品の企画を考える	小レポート、 プレゼンテーション	これまでの講義の内容を踏まえ、オリジナルの芸術作品の企画を考え、発表する	芸術作品の企画書を作るために、必要なリサーチや素材の用意を行う。 また、最終レポート作成のために、リサーチやこれまでの授業の復習を行う。	240	主体性 実行力 働きかけ力 創造力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力